

自治に必要なのは勇気と区民の支持



松本文明 衆議院議員

佐野 最も必要なのは勇気と区民の支持だという先生のご意見は全くその通りだと思います。

松本 私はこの国の税制に強い関心を持っています。この国の制度では中野区の仕事をするのに、税金を基に国と都からお金が入る、いわば3者合意がなければ動かない仕組みになっていきますね。そこで国や都のお金は他人のお金だから、余り口出ししないで、貰えるものだけ貰って来いということになってしまふ。税の効率化に向かって、私達はもつとほつきりものを言うべきだと思います。

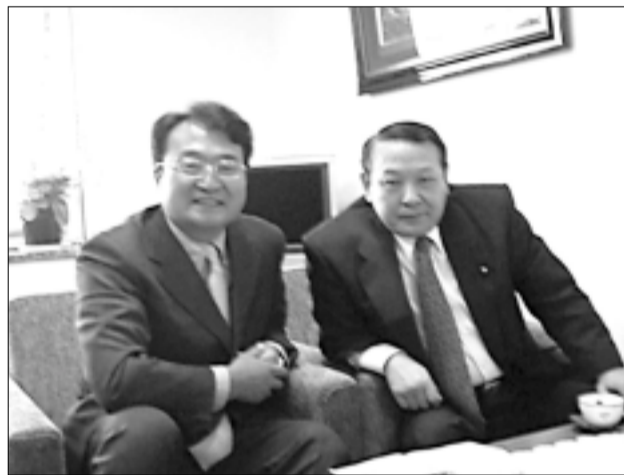
佐野 確かに地方自治の場合、国や都から補助金をもらっているのが、強いところがない部分がありまふ。そのへんを改革しないと、真の地方自治が成り立たないと思います。

松本 税制と財政制度の二つを変えていくには、まず意識の中で中野区より東京の方が上、東京都より国の方が上と考えるのは大きな間違いで、みな平等で同じ立場なのですから、もつと遠慮なくストレートに議論をし、この国の体制を変えていく必要があると思います。

佐野 私も勇気を持って区の独自性を出していくべきだと思ふ。先日、私も23区特別区人事委員会に行つて給与課長などに話し

を聞いたところ、『当委員会には、給与表など決めたことを報告と

いうことで各区に伝えるだけであり、従つて独自に作ることは可能である』と言つておりました



松本文明衆議院議員と対談する佐野れいじ区議(衆議院第一会館にて)

松本 今、それぞれの人事委員会の制度は形骸化されて、民間と役所との給与のバランスを第三者が公平に決めるんだという制度が十分機能を果たしているとは到底思えない。人事委員会の中で、民間の委員が数名いることにはなつてい

が、そのバックに控える事務局は全て公務員であり、こういう中では公平な人事委員会の答申など期待すべくもありません。全てを23区横並びでいいのなら、なにも地方分権する必用もな

いわけで、これからかなり勇気を持ってやつていく必要があると思ふ。佐野 今後はさらに、自治体も独自の方向性が出て

くる可能性があると思ふ。金太郎アメではないと思います。いろいろ貴重なお話、ありがとうございます。最後に今後の先生の抱負を一言お聞かせ下さい。

松本 この国が人口減少に向かう中で、如何に活力を維持出来るかは今後10年間の政治に係つてい

る。そういう時代に適用しうる統治制度が作り上げられるかどうかは今、問われているのだと思ふ。その制度作りに積極的に参加をしていきたいというのが私の思いです。今後とも全力を尽くして頑張ります。

松本文明(まつもと ぶんめい)
昭和24年生まれ
明治大学政経学部政治学科卒
都議4期(総務会長・政調会長・幹事長歴任)
衆議院議員(現在)
自民党東京都第七選挙区支部
(中野区・渋谷区)支部長



耐震偽装問題で参考人に質問する松本議員(12月7日、衆議院国土交通委員会)

明日の中野にハッキリ決断、すばやく実行!

神田川(妙正寺川・善福寺川) 激甚災害対策特別緊急事業に113億円

平成17年9月4日に発生した集中豪雨による妙正寺川及び善福寺川の災害について、河川激甚災害対策特別緊急事業の陳情の結果、護岸事業、橋梁改築など全体事業113億円が速やかに採択された。



北側国土交通大臣(中央)に要望書を手渡す松本議員(左)と石原議員(右)

10年後の職員平均年齢は50.4歳
これでは硬直した同じ考えしかでてこない

長に退職まで基本給が追い越せないような現在の基本給表をどのように考えるか。
人事担当課長 確かに現行の給料表は年功序列型で、職責や業績を十分に反映する仕組みになっていない。この給料表を変えること自体、23区の人事運営の共通基準にされることなので、区独自の判断で変更することはできない。
佐野れいじ 23区の壁をどうやって破ろうかということが大切なのではないか。年功に基づく賃金体系であるとするは、これは23区共通の悩みだ。これからはそういう時代ではないということの中野区から発信し、中野区がイニシアチブをとっていくべきではないか。
田中区長 全く同感だ。今、23区の人事委員会でも、かなり根本的な給与制度改革案の検討を行っているところ。人事委員会としてそうした検討がなされた場合には、特別区長会としてその内容実現に向けて、私も力を尽くしていく。

18年4月から、なかの区民テレビが区内全域で視聴可能!
佐野れいじ 私は議員になってから一貫して情報の格差是正を訴えてきた。中野区では約1万6000世帯が東京ガス、NTT、健康プラザなどの施設による電波障害で、なかの区民テレビによる区の情報を見ることが出来なかったが、私がチャンネルリスということを提案し、今回補正予算を組み、18年4月から視聴が可能になった。こういった情報の格差を区として認識していただきた。感謝している。今後2011年にはすべてデジタル化になり、また見ることができなくなるが、どうしていくのか。
情報化推進担当参事 チャンネルリスの使用期間については、2011年7月24日、アナログ放送終了までという期間で締結する考えだ。現在CTNへの移管交渉を行っている。
佐野れいじ 検討を今後も重ねていただきた。

区の未収金56億5400万円
どうする!
佐野れいじ 特別区民税が27億8500万円、健康保険が28億6900万円、合わせて56億5400万円が滞納になっている。時効もあり、担当は大変かもしれないが、「収納率を上げる」このことを肝に銘じて頑張つていただきた。
保険医療担当課長 まず自主納付率を高める方策として、口座振替の勧奨を行っている。また平成16年度の6月からコンビニ収納を開始した。滞納者対策として今年度は自動電話催告システムを導入した。財産調査、差し押さえ等、滞納処分の体制を今年度から強化した。

経営改革担当課長 現在職員計は2783名、平均年齢45.7歳、採用不補充の場合、10年後1937名、50.4歳という数値になっている。
佐野れいじ 中野区は10か年計画をこれから出そうとしているが、職員の半分が50歳以上になると、硬直した同じ考え方が出てくるのではないかと。また職員構成は逆ピラミッド現象になる。
経営改革担当課長 適切な人員配置ができるよう、採用の方法も含めて検討していく。